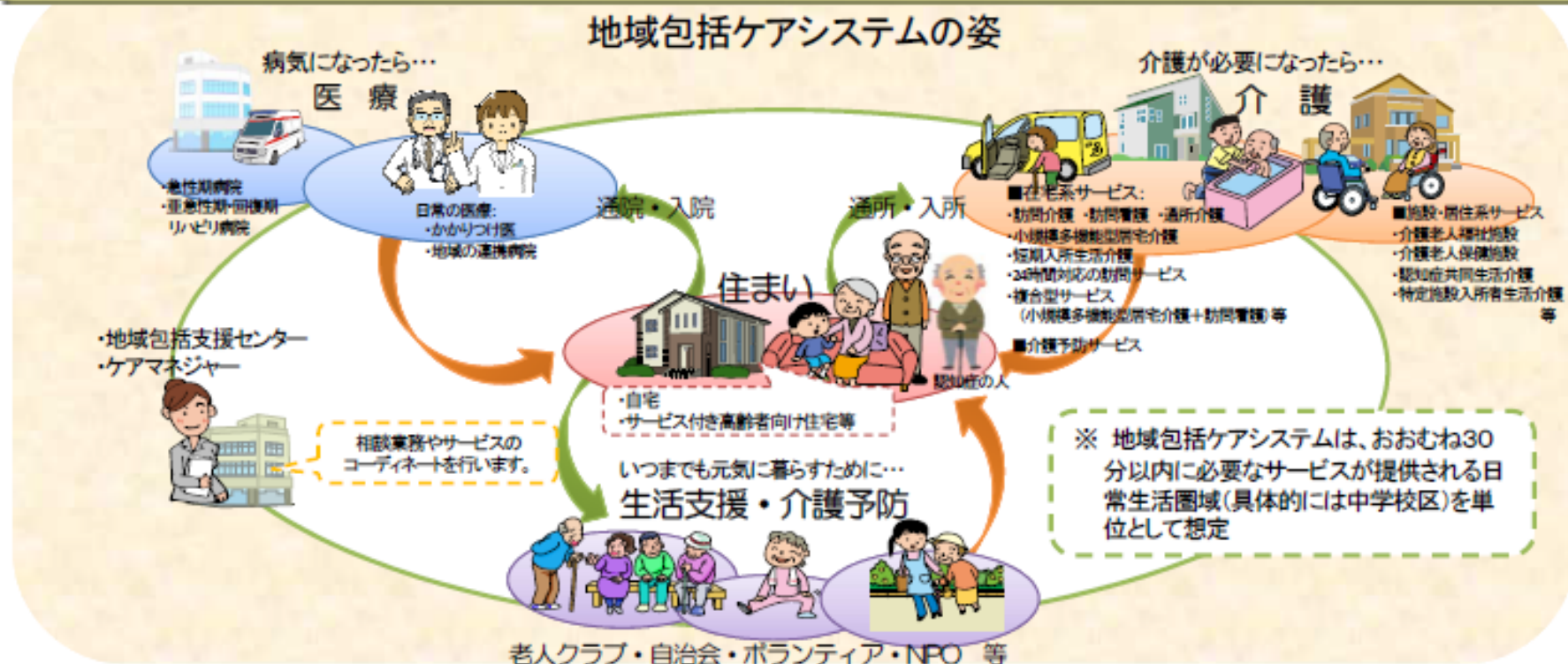


船橋市地域ケア会議について

地域包括ケア推進課

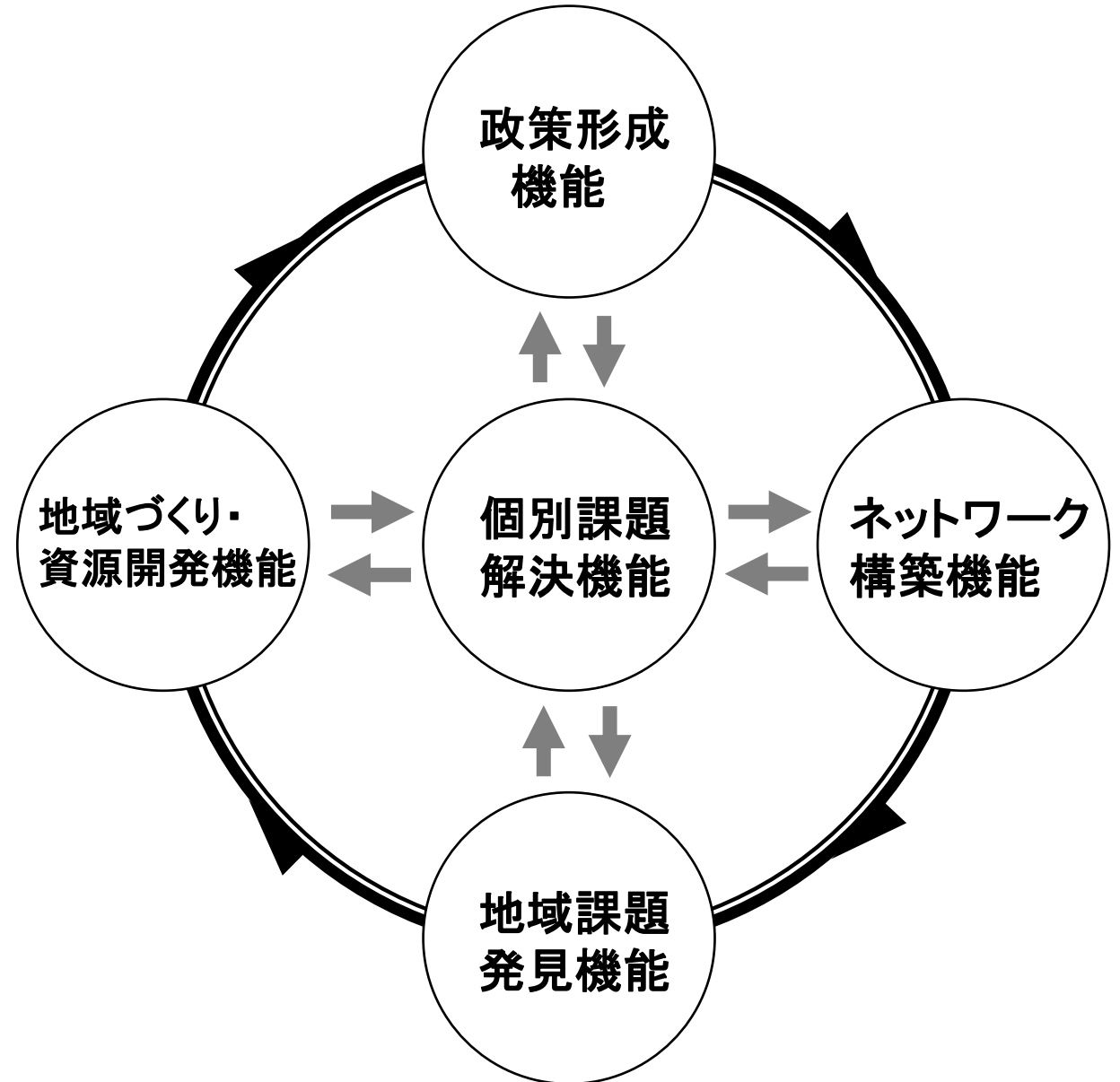
地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



主な機能

- ①個別課題解決機能
- ②ネットワーク構築機能
- ③地域課題発見機能
- ④地域づくり・資源開発機能
- ⑤政策形成機能



船橋市における地域ケア会議の体系

国の分類 ※	開催 レベル	名 称	参加者	頻度	内 容	機能				
						① 個別課題解決	② ネットワーク構築	③ 地域課題発見	④ 地域づくり	⑤ 政策形成
地域ケア 推進会議	市	① 高齢者虐待防止等 ネットワーク運営委員会	市レベルの医療・介護・福祉・地域等関係代表者	定例	各種サービスの充足状況等の分析、地域ケアの方策の検討など		◎			◎
	地区	② 全体会議	地区レベルの医療・介護・地域等関係代表者	定例	地域課題、地域づくりの検討など	○	◎	◎	◎	
地域ケア 個別会議	個別	③ 個別ケア会議	ケースの直接関係者	随時	対象者支援	◎	○	○	○	
		④ 自立支援ケアマネジメント 検討会議	リハビリ職等の専門職、担当ケアマネジャー等	定例	個別事例を通じたケアマネジメント支援	◎	○	◎		

※国では、「地域ケア会議」の名称として、「機能」に着目し、①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能については主に地域包括支援センター主催による『**地域ケア個別会議**』、④地域づくり・資源開発、⑤政策形成機能については検討内容によって地域包括支援センターまたは市町村主催による『**地域ケア推進会議**』と称するなどが考えられます。

地域ケア会議の開催数(令和7年度)

●自立支援ケアマネジメント検討会議

- ・会議開催回数 : 24回
 - ＊基本的に第3、第4水曜日 15～17時の間に開催

●地域ケア会議(全体会議)

- ・開催数(全24地区):98回